

## 株式市場概況

先週の動き（10月5日～10月9日）

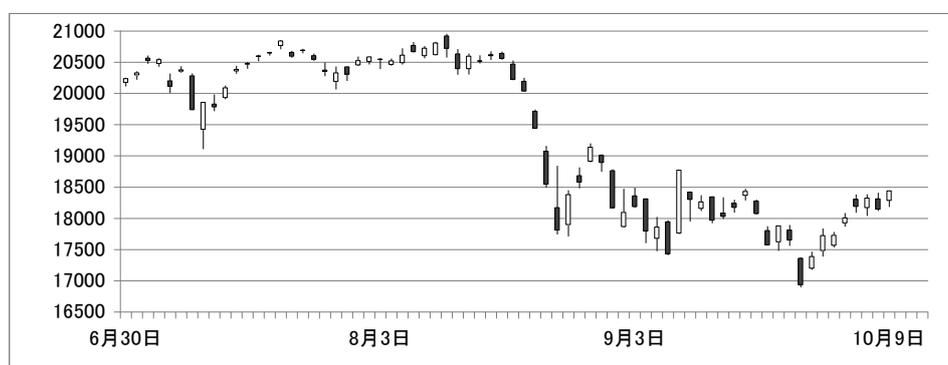
前週末発表された米国雇用統計の非農業部門雇用者数（9月）は、14.2万人（予想20万・前月17.3万→13.6万）と予想を下ぶれ、前月、前々月発表分も下方修正となった。発表を受け、当初、米国株は大きく下落したがその後は切り返し、前日比でプラスでの引けとなった。

当初は市場の減速を悲観する売りが多かったが、米国中銀による金利の引上げが近く行なわれる可能性が低くなったことから、買い安心感が広がったようだ。

週明けにはその行方が注目されたTPP（環太平洋連携協定）が大筋合意に至ったことも好感され、日本株も堅調な動きを見せ、日経平均株価は18,000～18,400円のレンジでの推移となった。日銀政策決定会合では予想通り政策の変更はなかったが、18,000円を割り込む場面もあった。しかしその影響は一時的で、その後も底堅い動きとなった。週末の日経平均は前週末比+4.03%の18,438円と1週間の高値での引けとなった。

日本の経済指標では機械受注（8月・前月比）が-5.7%（予2.3%・前-3.6%）と予想を大幅に下回った。景気ウォッチャー調査は現状47.5（予49・前49.3）、先行き49.1（予48.3・前48.2）と現状は悪化した先行きが改善しており、今後も先行きの改善が続くか注目したい。

日経平均株価（2015年6月30日～）



セクター別は鉱業が上昇トップ。原油価格の上昇が好感された。鉄鋼、非鉄など素材関連の上昇も大きかった。下落したのは2セクター。下落トップの空運は原油価格の上昇が悪材料となった。小売は発表された月次の売上や決算からインバウンド消費に不安が出たことから下げた。

スタイルインデックスでは、このところ下落傾向にあった大型の反発が目立つ。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)		
鉱業	16.97%	空運	-3.40%	コア30	6.05%
鉄鋼	14.53%	小売業	-2.23%	TOPIXバリュー	5.51%
非鉄金属	11.20%	繊維製品	0.71%	TOPIXL70	5.08%
パルプ紙	10.55%	サービス業	1.19%	TOPIX	4.86%
卸売業	10.53%	医薬品	1.43%	TOPIXグロース	4.20%
石油石炭	10.48%	ゴム製品	2.32%	日経平均株価	4.03%
				ミッド400	3.94%
				TOPIXスモール	3.01%
				マザーズ	2.58%
				東証2部	1.23%
				REIT指数	0.05%

---

## 今後の注目点

8月11日の中国の人民元切り下げをきっかけとして起こった、今回の株安は様々な市場を混乱に陥れた。中国株式、その他の新興市場、米国の高金利債などの混乱に目立った。特に米国の高金利債の発行体には原油関連企業が多く、それまで低金利環境で資金が流れ込み、金利が大幅に低下してただけに、価格の下落が大きかった。

前週発表された米国の雇用統計悪化により、米國中銀による政策金利の引上げは先送りされる可能性が高いと捉えられ、市場は落ち着きを取り戻した。米 VIX 指数は一時 40 まで上昇する場面があったが、先週は 20 を割り込み日経ボラティリティー・インデックスも 25 まで低下してきた。先にあげた混乱に陥った市場もひとまずはリバウンドする形となっている。

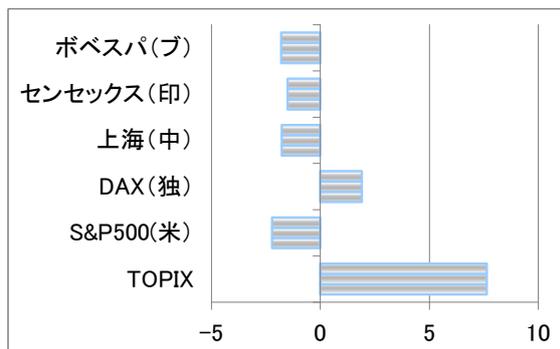
緩和的な金融政策は短期的には歓迎されるだろう。しかし、今後は徐々に実体経済の動向へと投資家の焦点は移るのではないだろうか。

---

## 資料 各国株価動向

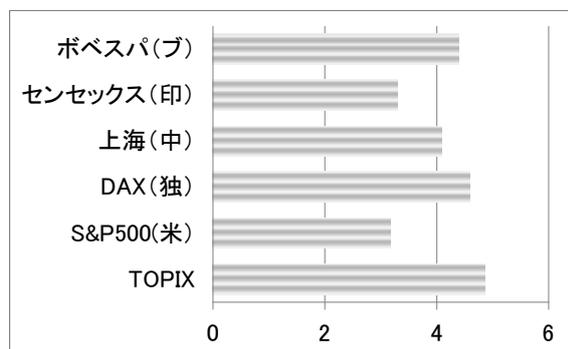
---

年初来上昇率 (%) 値は9日引け時点



---

前週末比 (%) 値は9日引け時点



---

## 株式市場需給動向 (9月5週: 9月28日~10月2日)

9月5週の投資部門別売買動向は海外、自己が売り越し、信託銀行、投資信託、事業法人などが買い越しとなった。裁定買い残高は16億円の増加、裁定買い残高は384億円の減少、信用買いの評価損益率は-14.72%と前週に比べて約1%悪化した。

---

投資主体別売買動向（2015年9月5週）

	現物（億円）	先物（億円）	差引（億円）
自己	-1838.16	-112.62	-1950.79
委託	1822.53	274.35	2096.88
自己・委託合計	-15.63	161.73	146.10
法人	4290.48	4900.42	9190.90
個人	-440.60	-33.02	-473.62
海外投資家	-1988.95	-4651.09	-6640.04
証券会社	-38.40	58.04	19.64
投資信託	756.88	1710.06	2466.94
事業法人	660.29	-40.47	619.82
その他法人	85.10	16.11	101.21
金融	2788.21	3214.72	6002.93
生保・損保	-25.41	84.69	59.28
都銀・地銀	-131.17	-54.56	-185.73
信託銀行	2412.59	3181.17	5593.75
その他金融機関	532.21	3.43	535.63

（価格データはブルームバーグによる）

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会